



一般財団法人 Ruby アソシエーション

2013 年度 第 1 回定時評議員会 議事録



- 1 開催場所：株式会社日立ソリューションズ
(東京都品川区東品川4-12-7 (日立ソリューションズタワーB))
- 2 開催日時：2013年6月24日(月) 14:00～15:00
- 3 評議員総数及び定足数：現在総数13名、定足数7名
- 4 出席評議員数：8名
(本人出席) 大場寧子、後藤裕蔵、正村勉、立久井正和、中島宏、平松知江子、森正弥、吉田正敏
(欠席) 出田健二、及川喜之、最首英裕、羽田昭裕、吉岡宏
- 5 出席理事：松本行弘、井上浩、笹田耕一、澤田盛繁、田中和明
- 6 事務局：前田修吾、横田早百合、杉原健司 (支援スタッフ)、福田一斎 (支援スタッフ)
- 7 オブザーバ出席：高橋征義、田代秀一、藤原亮彦、楨原由文

以上のとおり評議員の出席があり本評議員会は適法に成立したので、出席評議員から中島宏が議長として選出され開会を宣し、出席評議員から後藤裕蔵、平松知江子が議事録署名人として選出された。先ず、冒頭で松本理事長から挨拶があり、続いて下記議案の審議に入った。

8 内容

■松本理事長挨拶

- ・年々財団に対する期待も上がってきている。今年も RubyWorld Conference を開催するが、一層内容の充実を図っていく。
- ・標準規格の維持も財団で行うことになり、今後どうしていくのか検討する必要もある。
- ・こうして財団事業は拡大する中で、どう存在感を示し、どう関係者から支援を頂いていくのか。
- ・評議員にはこれまでのご支援頂いている。労力にあわせてお知恵もお借りしたい。
- ・財団の財政状況は依然厳しいので、知恵を絞って各事業に取り組んでいきたい。

■第 1 号議案 2012 年度決算案について

議長は、第 1 号議案について事務局に説明を求めた。前田事務局長が先に理事会にて機関決定された 2012 年度の事業報告書を資料 No1 によって説明し、次いで横田事務局員が下記の書類に基づき 2012 年度の決算内容について詳細に資料 No2 によって説明した。

(1) 貸借対照表 (2) 正味財産増減計算書 (3) 財産目録

また、今岡監事による監査報告が読み上げられ、上記の書類につき綿密に調査した結果、いずれも正確かつ適切であることを認めた旨を報告した。

以下、質疑応答。

正村評議員：2011 年度に比べて 2012 年度の支出の中で、委託費が大幅に減っているのは何故か。

横田事務局員：2011 年度は情報発信事業において島根県から補助金を受け、評議員在籍の数社とコンソーシアムを組んで実施した。この補助金をコンソーシアム企業に支払う際に委託費で計上している。これによって 2011 年度は委託費が多額となっていた。

議長が上記につき可否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認可決した。

■第 2 号議案 理事の辞任・選任について

議長は、第 2 号議案について事務局に説明を求めた。前田事務局長が資料 No3 によって説明、理事 2 名 (松本行弘及び井上浩) が本定時評議員会の終結の時をもって任期満了すること、並びに理事 4 名 (笹田耕一、澤田盛繁、田中和明及び橋本明彦) より本定時評議員会の終結の時をもって理事を

辞任する旨の申出を受けたことから、後任の理事を選任する必要がある旨を述べ、候補者ごとに議場に諮ったところ全員異議なく下記の者を選任可決した。

理事 松本行弘、井上浩、笹田耕一、橋本明彦、田中和明、山根泉

■報告事項 1 2013 年度予算 6 月補正について

議長は、報告事項 1 について事務局に説明を求めた。杉原支援スタッフが先に理事会にて機関決定された 2013 年度予算 6 月補正を資料 No3 によって報告した。なお、議場より特段の異議はなかった。

■報告事項 2 標準規格について

議長は、報告事項 2 について事務局に説明を求めた。前田事務局長が標準規格に関して資料 No4 によって報告した。なお、議場より特段の異議はなかった。

■報告事項 3 国事業「起業支援型地域雇用創造事業」の活用について

議長は、報告事項 3 について事務局に説明を求めた。福田支援スタッフより 6 月 16 日の週に応募、面接を行い、福岡在住の方を採用することが内定し、7 月 1 日に着任予定と説明。なお、議場より特段の異議はなかった。

■報告事項 4 Ruby Prize について

議長は、報告事項 4 について事務局に説明を求めた。福田支援スタッフより Ruby Prize に関して資料 No5 によって報告した。

以下、質疑応答。

吉田評議員：選考の対象はグローバルか。

福田支援スタッフ：その通り。

吉田評議員：Prize 委員へのアナウンスはサイト公開や、当財団からだけでは情報力が弱いのでは。

福田支援スタッフ：Prize 委員には個別にダイレクトメールを送るほか、米国の Ruby Central にも協力を依頼する予定。その他、有効な協力依頼先があればアドバイス頂きたい。

吉田評議員：OSS のイベントは様々あり、例えば日本 OSS 推進フォーラムが実施する北京などのイベントもあるので活用して欲しい。

その他、議場より特段の異議はなかった。

■報告事項 5 RubyWorld Conference について

議長は、報告事項 5 について事務局に説明を求めた。前田事務局長より開催概要の説明、当日の参加の依頼の他、協賛金の依頼を行った。なお、議場より特段の異議はなかった。

上記の議決を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

2013年6月24日

一般財団法人Rubyアソシエーション評議員会



議長

中島 宏



議事録署名人

後藤 裕蔵



議事録署名人

平松 知江子



一般財団法人 Ruby アソシエーション 定時評議員会

日時：2013年6月24日（月）14:00～16:00

場所：日立ソリューションズ会議室

1 理事長あいさつ

2 議 題

1) 第1号議案：2012年度 決算案について 資料 No1、2
・2012年度 事業報告書
・2012年度 決算案

2) 第2号議案：理事の辞任・選任について 資料 No3

3 報告事項

1) 2013年度予算 6月補正について 資料 No4

2) 標準規格について 資料 No5

3) 国事業「起業支援型地域雇用創造事業」の活用について

4) Ruby Prize について 資料 No6

5) RubyWorld Conference 2013 について

4 その他

2012 年度（第 2 事業年度）

「事業報告書」

2012 年 4 月 1 日から

2013 年 3 月 31 日まで

一般財団法人 Ruby アソシエーション

「2012年度事業報告」目次

1	事業の概要	2
2	体制及びその変更	2
	1) 評議員	
	2) 理事	
	3) 監事、顧問及び事務局	
	4) 評議員選定委員会	
3	実施事業	3
	1) 公募型開発プロジェクト	
	2) Ruby 安定版保守事業	
	3) Ruby に関する情報発信事業	
	(1) Web での情報発信	
	(2) RubyWorld Conference の開催	
	(3) セミナー活動	
	(4) その他、イベントの開催	
	4) Ruby 技術者認定試験事業	
	5) 事業者認定事業	
	6) 協賛会員事業	
	7) 寄付事業	

1 事業の概要

プログラミング言語 Ruby は、2012 年 4 月にその言語仕様が国際規格に承認（ISO/IEC 30170）され、軽量 Ruby の開発成果が公表されるなど、Ruby への信頼性の高まりと利用範囲の更なる拡大に向けて節目となる年でした。また、今年 2 月にはその開発から 20 年を迎えるとともに、5 年ぶりのメジャーバージョンとして Ruby2.0 がリリースされ、Ruby は新たな時代へと突入しました。

2012 年度は、こうした背景を元にした Ruby のビジネス利用の拡がりとともに、一般財団法人 Ruby アソシエーション（以下、「当財団」と言う。）への期待も高まった一年でした。当財団は、その目的である Ruby 関連のプロジェクトやコミュニティ、ビジネスの関係をより良好なものとし（「Ruby Eco System」の構築）、ビジネス分野における Ruby の利用に関する諸課題の解決に取り組みました。

本書では当財団の 2012 年度の実施事業について報告します。



2 体制及びその変更

1) 評議員

2012 年度当初、以下の 13 名（五十音順）が評議員でした。

- ・ 及川 喜之 (株)セールスフォース・ドットコム CTO
- ・ 大場 寧子 (株)万葉 代表取締役社長
- ・ 後藤 裕蔵 (株)ネットワーク応用通信研究所 取締役
- ・ 最首 英裕 (株)グルーヴノーツ 代表取締役社長
- ・ 柴田 直樹 (株)まちづくり三鷹 常務取締役
- ・ 正村 勉 (株)日立ソリューションズ
技術開発本部 本部長 兼 Ruby センタ センタ長
- ・ 立久井 正和 (株)インターネットイニシアティブ
サービス本部 プラットフォームサービス部長
- ・ 中島 宏 (株)DTS IT インテグレーション事業本部 IT プラットフォーム部 部長

- ・羽田 昭裕 日本ユニシス(株) 総合技術研究所 所長
- ・平松 知江子 (株)富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ
生産革新技術センター長代理 兼 OSS ビジネス推進部長
- ・森 正弥 (株)楽天 執行役員 兼 楽天技術研究所 所長
- ・吉岡 宏 (株)テクノプロジェクト 代表取締役社長
- ・吉田 正敏 富士通(株) プラットフォーム技術本部 チーフストラテジスト

2013年3月の柴田氏の辞任に伴い、評議員選定委員会の承認を得た以下の者が新たに評議員に就任しました。

- ・出田 健二 (株)まちづくり三鷹 経営事業部企画事業グループマネージャ

2) 理事

2012年度当初、以下の3名が理事でしたが、9月開催の評議員会で理事体制が変更となりました。

(当初)

- ・代表理事 松本 行弘
- ・副理事 前田 修吾
- ・理事 井上 浩

(変更後)

- ・代表理事 松本 行弘
- ・副理事 井上 浩
- ・理事 澤田 盛繁
- 橋本 明彦
- 田中 和明
- 笹田 耕一

3) 監事、顧問及び事務局

- ・監事 今岡 正一 (公認会計士)
- ・顧問 松浦 正敬 松江市長、溝口 善兵衛 島根県知事
- ・事務局 9月より前田修吾(前副理事長)が事務局長として、事務局業務全般を統括し、常勤スタッフ1名の他、松江市、島根県による人的支援によって運営しました。また、今期から利用事例作成編集の担当スタッフとして外部ライターと契約をしました。

4) 評議員選定委員会

- ・委員長 立久井 正和 (評議員)
- ・委員 今岡 正一 (監事)、横田 早百合 (事務局員)、
田代 秀一 (外部委員)、高橋 征義 (外部委員)

3 実施事業

1) 公募型開発プロジェクト

Ruby 及び周辺環境の改善を目的に Ruby 処理系、ライブラリ及びフレームワークに関連する開発プロジェクト(既存のソフトウェアを改良するプロジェクトを含む)を公募し、グラント委員会で選考の結果、以下2件のプロジェクトを採択しました。

いずれも 2013 年 3 月 31 日までに開発を終え、現在はその成果を公開しています。

- ・ 公募期間：2012 年 7 月 17 日 ～ 8 月 20 日
- ・ 応募件数：8 件（日本国内 1 件、国外 7 件）
- ・ 採択件数：2 件

①採択者：Ruby Science Foundation	プロジェクト：SciRuby and NMatrix
<p>NMatrix は Ruby のための行列ライブラリであり、SciRuby プロジェクトの一部です。NMatrix と SciRuby に統計的、数值的、視覚化ライブラリを提供することによって、科学コミュニティに Ruby が広まることが期待されます。</p>	
②採択者：Sam Rawlins氏	プロジェクト：Creosote - A Mathematics Package for Ruby
<p>CreosoteプロジェクトはRubyエコシステムで利用可能ないくつかの強力な数学ライブラリを開発します。現在は、数学的GMP、MPFR、MsieveライブラリのRubyバインディング(C拡張)をメンテナンスしています。今日、これらのライブラリは別個のgemで提供されており、お互いのライブラリの存在を認識しにくくなっています。これらのライブラリを含めて、より多くの数学ライブラリを含むCreosoteプロジェクトを成長されることを目的としています。</p>	

2) Ruby安定版保守事業

ユーザが安心して Ruby を利用できる環境を構築するため、Ruby 安定版の保守事業を実施しています。事業仕様策定後に業務を外部機関に委託することと、委託先の選定に際し公募を行った結果、株式会社 TOUA に決定いたしました。委託期間は 2012 年 10 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日です。

3) Rubyに関する情報発信事業

(1) Webでの情報発信

協賛会員をはじめ、Ruby をビジネス利用する企業に利用事例作成編集の担当スタッフが当該企業担当者に直接面談し、概要情報と詳細情報の作成を行いました。これらの情報は、利用時の背景事情、適用されたビジネス・システム分野やその特性など、利用企業のみならずエンドユーザ(企業や個人の場合あり)の損益にも深く関わる場合があることから、公開前に利用企業等による内容確認を実施し(その際にエンドユーザに了解を得ることもあった)、関係者合意の上で財団ホームページに掲載しました。2012 年度は新たに 9 件の利用事例を紹介しました。

2012年度 新規掲載企業	テーマ
東京ガス、株式会社ティージー情報ネットワーク	リアルタイム地震情報配信サービス「jishin.net」を Ruby で構築
リバティ・フィッシュ株式会社	タブレット端末を活用した介護施設向けシステムを Ruby により商品化
国立大学法人島根大学	Ruby、Ruby on Rails で新たな講義を開講
クックパッド株式会社	日本の食卓を支える料理レシピサービスを Ruby で開発

株式会社まちづくり三鷹、株式会社コミュニティ・クリエーション	自治体向け業務パッケージを Ruby で開発
イズミヤ株式会社、株式会社万葉	クラブカード会員向けモバイルサービスを Ruby で開発
日本ユニシス株式会社	Ruby で加速する新しいクラウドサービスの開発
シーイーシークロスメディア株式会社	メディアコンテンツ作成サービスを支える Ruby on Rails
島根県庁	Ruby による産業構造の転換

(2) RubyWorld Conferenceの開催

2012年11月8日(木)、9日(金)、島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」(島根県松江市)にて、4回目となる「RubyWorld Conference 2012」を開催しました。主催は、RubyWorld Conference 開催実行委員会(構成機関:当財団、島根県、松江市、島根大学、松江高専、ジェトロ松江、しまね産業振興財団、島根県情報産業協会、しまねOSS協議会、経済産業省中国経済産業局)、共催は情報処理推進機構(IPA)、その他、多くの機関の後援、協賛をいただき実施しました。

今回の国際会議では、Rubyに関するビジネス利用事例や、最新技術の情報、言語仕様の標準化の動向などを紹介する様々なセッションを通じて、Rubyがより多くの領域に普及していくことを目指し、国内外16名が講演し、来場者数は2日間で延べ949名(詳しくは下記を参照)を数えました。

基調講演では、実行委員長でもある松本理事長が「How to change the world」と題し講演。また、2日目の基調講演では、英語圏において最初にRubyを取り上げた書籍「プログラミング Ruby」の著者としても知られている Dave Thomas氏が「The Limits of Language」と題して、プログラミングの目的であるコミュニケーションについてRubyとどの様に関係しているのかご講演いただきました。

2013年は、おなじく島根県松江市で11月21日(木)、22日(金)に開催を予定しています。

●来場者について

2日間延べ949名(11月8日 577名、11月9日 372名)

来場実数 674名(県内 406名、県外 259名、海外9名)

- ・IT企業関係者 304名(県内118名、県外186名、海外6名)
- ・その他企業関係者 89名(県内56名、県外33名)
- ・行政関係者 59名(県内47名、県外12名)
- ・研究教育機関関係者 173名(県内166名、県外7名)
- ・一般(所属なし) 27名(県内13名、県外14名)
- ・講演者 16名(県内6名、県外7名、海外3名)

●講演者について

- ・国内13名(企業関係者9名、教育研究機関2名、行政機関2名)
- ・海外3名(アメリカ2名、ドイツ1名 うち企業関係者2名)

(3) セミナー活動

当財団の単独主催、又は関係機関との共催、協力を得てビジネスセミナーを4回開催致しました。これらのセミナーでは、Rubyの利用状況と今後のビジネストrendをはじめ、開発現場で必要とされる技術情報など、開催地の状況に応じた話題提供をすることで参加者のニーズに合わせたセミナー機会を提供しました。ま

た、セミナー後の質疑応答やセミナー後の意見交換の場など、Web上だけではない「リアルなビジネス交流」の機会を提供しました。

各セミナーでは参加者にアンケートを実施し、情報発信事業に対する評価と当財団への要望も意見集約し、今後の事業内容の検討にも活用しています。

開催時期、会場	開催テーマ	来場者数(名)	備考
2012年 6月、東京	国際規格承認	約150名	IPA 共催
2012年10月、東京	クラウド×Ruby	約80名	IIJ 開催協力
2012年12月、東京	現場で必要とされるテクノロジー	約50名	単独開催
2013年 1月、大阪	エンタープライズRuby	約140名	Rubyビジネス協議会開催協力
2013年 3月、松江	Mruby	約60名	松江市、島根県共催

(4) その他、イベントの開催

開発から20周年を迎えた2013年2月23日、当財団と一般社団法人 日本 Ruby の会が共催し、Ruby20周年記念パーティを開催しました。

当日は、Rubyに縁の深い方々からの御祝辞や、Rubyのこれまでを振り返るインタビューコーナーなどを行い、松本理事長や開発コミッタの方々を囲み、日頃からRubyを利用するユーザ、ビジネスや研究に活用する方々など約300名が参加しました。

4) Ruby技術者認定試験事業

2012年度も、Rubyベースのシステムを設計、開発、運用するエンジニア、Rubyでシステム提案を行うコンサルタント、Rubyを教える講師などを対象とした認定試験制度を実施しました。

認定者は、Ruby技術者としての技術力を公正に評価され、高い水準のRubyによるシステム開発能力を持つことを認定されます。認定によりRubyベースでシステム開発を行ううえで必要な基礎的な知識と応用力をもつことをアピールすることができます。

試験の合格者は、当財団が「Ruby Association Certified Ruby Programmer」として認定します。現在は、国内(試験区分: Silver、Gold)、海外(試験区分: Silver)で実施しており、2012年10月より当財団が直営実施(CBT受験環境、オペレーションはプロメトリック社に委託)しており、安心して受験いただける環境を提供しています。

5) 事業者認定事業

従来から実施している認定システムインテグレータプログラム(Rubyの高い技術力を持った企業を認定)に加えて、2012年10月から認定教育機関プログラム(Rubyの教育をおこなう高い技術を持った企業を認定)、認定サポート事業者プログラム(Rubyのサポートサービスを提供する高い技術を持った企業を認定)、及び認定クラウドサービス事業者プログラム(Rubyアプリケーションの運用に適したクラウドサービス(IaaS、PaaS)をおこなう高い技術を持った企業を認定)の各プログラムを実施しています。2013年3月31日時点での認定企業数は以下のとおりです。

認定種別	Gold	Silver
認定システムインテグレータプログラム	15	55
認定教育機関プログラム	2	—
認定サポート事業者プログラム	2	—
認定クラウドサービス事業者プログラム	2	1

6) 協賛会員事業

2012年度から、さらなる事業活動の充実を図るため、Rubyの普及・発展のための事業に賛同し、支援いただける協賛会員を募集しました。

- ・会員資格

法人、任意団体及び個人

- ・会員種別、会費

年会費 1口 10万円（4月を開始月とします）

①Platinum Sponsor 5口以上（50万円以上）

②Gold Sponsor 2口以上（20万円以上）

③Silver Sponsor 1口以上（10万円以上）

2013年3月31日時点での協賛会員数は、以下のとおりです。

Platinum :	Gold :	Silver :
年間5口以上	年間2口以上	年間1口以上
9	17	30

7) 寄付事業

当財団の事業に賛同頂いた個人より寄付を頂きました。

寄付者芳名
及川和彦 様
中村浩士 様
中村成洋 様
中村宇作 様
澤田盛繁 様

他、芳名掲載の希望なし1名

決 算 報 告 書

(第 2 期)

自 2012年 4月 1日
至 2013年 3月 31日

一般財団法人Rubyアソシエーション

貸借対照表
2013年 3月31日現在
(2012年度 第2期)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,228,774	6,181,270	6,047,504
未収金	1,734,734	13,336,800	△ 11,602,066
流動資産合計	13,963,508	19,518,070	△ 5,554,562
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	16,963,508	22,518,070	△ 5,554,562
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,127,337	14,485,414	△ 13,358,077
前受金	2,300,000	2,000,000	300,000
預り金	42,091	35,937	6,154
流動負債合計	3,469,428	16,521,351	△ 13,051,923
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,469,428	16,521,351	△ 13,051,923
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	10,494,080	2,996,719	7,497,361
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	13,494,080	5,996,719	7,497,361
負債及び正味財産合計	16,963,508	22,518,070	△ 5,554,562

正味財産増減計算書

2012年 4月 1日から2013年 3月31日まで
(2012年度 第2期)

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	172	258	-86
事業収益	15,292,527	913,500	14,379,027
受取補助金	0	13,236,000	-13,236,000
受取寄付金	10,957,144	7,401,919	3,555,225
受取利息	1,579	381	1,198
雑収益	0	100,800	-100,800
経常収益計	26,251,422	21,652,858	4,598,564
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	1,625,455	982,836	642,619
法定福利費	242,190	67,562	174,628
会議費	0	48,970	-48,970
旅費交通費	110,040	149,680	-39,640
通信費	41,058	36,373	4,685
消耗品費	735,945	253,800	482,145
水道光熱費	3,000	881	2,119
支払手数料	3,814,645	3,202	3,811,443
賃借料	563,361	21,542	541,819
租税公課	19,000	200	18,800
支払負担金	500,000	0	500,000
支払助成金	1,442,466	1,006,722	435,744
委託費	4,651,443	14,268,706	-9,617,263
管理費			
役員報酬	1,200,000	800,000	400,000
給与手当	1,625,454	308,772	1,316,682
法定福利費	242,190	67,561	174,629
広告宣伝費	0	45,000	-45,000
会議費	5,670	36,968	-31,298
旅費交通費	1,252,810	23,100	1,229,710
通信費	37,448	33,892	3,556
消耗品費	200,673	108,770	91,903
水道光熱費	2,999	881	2,118
諸会費	2,572	2,572	0
支払手数料	137,356	228,058	-90,702
賃借料	86,166	21,541	64,625
租税公課	53,120	123,550	-70,430
委託費	159,000	15,000	144,000
経常費用計	18,754,061	18,656,139	97,922
当期経常増減額	7,497,361	2,996,719	4,500,642

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	7,497,361	2,996,719	4,500,642
一般正味財産期首残高	2,996,719	0	2,996,719
一般正味財産期末残高	10,494,080	2,996,719	7,497,361
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	13,494,080	5,996,719	7,497,361

財 産 目 録

2013年 3月31日現在

(2012年度 第2期)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	199,710
預金	普通預金 山陰合同銀行松江駅前支店	運転資金として	12,029,064
未収金		補助金収入の未収分他	1,734,734
流動資産合計			13,963,508
(固定資産)			
基本財産 普通預金	定期預金 山陰合同銀行松江駅前支店	運用益を事業の財源として	3,000,000
固定資産合計			3,000,000
資産合計			16,963,508
(流動負債)			
未払金		委託費の未払分	352,616
		助成金の未払分	309,343
		その他事業費及び管理費の未払分	465,378
前受金		協賛金の前受分	2,300,000
預り金		源泉所得税の預り分	42,091
流動負債合計			3,469,428
(固定負債)			0
固定負債合計			0
負債合計			3,469,428
正味財産			13,494,080

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	3,000,000	0	3,000,000	0
定期預金	0	3,000,000	0	3,000,000
小計	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
特定資産				
	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
小計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
	0	(0)	(0)	(0)
小計	0	(0)	(0)	(0)
合計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記2.「基本財産及び特定資産の増減及びその残高」に記載しているため、その記載を省略している。

監査報告書

一般財団法人 Ruby アソシエーション
理事長 松本行弘 殿

平成 25 年 6 月 7 日

一般財団法人 Ruby アソシエーション
監事 今岡正一



私は、平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

1) 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

理事の辞任・選任について

●理事体制

改選後の理事	現在の理事
松本 行弘（代表理事理事長）：再任	松本 行弘（代表理事理事長）：任期満了
井上 浩（副理事長）：再任	井上 浩（副理事長）：任期満了
笹田 耕一：再任	笹田 耕一：辞任
田中 和明：再任	澤田 盛繁：辞任
橋本 明彦：再任	田中 和明：辞任
山根 泉：新任	橋本 明彦：辞任

※今回の理事改選により再任又は新たに就任される理事の任期は、
2015年6月に開催を予定する定時評議委員会までとなる（この場合、再任は妨げられません）。

(参考) 新理事について

氏名	推薦理由
山根 泉	元島根県商工労働部長として、一般財団法人 Ruby アソシエーションの目的、必要性を理解されており、また、現職（理事就任時には前職）である「公益財団法人 しまね産業振興財団 副理事長」として、財団の法益法人化を指揮し、また、公益法人の組織運営・管理の手腕を高く評価されるなど、今後の当財団の組織運営においての指導力を期待できるため。

2013年度 一般財団法人Rubyアソシエーション 補正予算 2013.6.11 単位:千円

	2013年度 原予算①	2013年度 補正予算②	②-①
1 売上高			
1)Ruby技術者認定試験	8,172	15,600	7,428
2)事業者認定事業	2,250	2,250	0
3)その他事業収入	2,860	8,114	5,254
小計	13,282	25,964	12,682
2 特別利益(協賛金、寄附金)			
1)協賛会員	13,000	13,300	300
2)寄附金	210	210	0
3)その他	0	0	0
小計	13,210	13,510	300
3 雑収入			
1)預金利息 等	2	2	0
4 売上原価			
1)Ruby技術者認定試験	175	6,309	6,134
2)事業者認定事業	540	540	0
3)その他	0	0	0
小計	715	6,849	6,134
5 その他、事業費用			
1)公募型開発プロジェクト	1,500	1,500	0
2)Ruby安定版の保守業務委託	3,400	3,400	0
3)Web活用(情報発信事業)	725	725	0
4)RubyWorld Conference開催	2,300	2,300	0
5)ビジネスセミナー開催 等	2,660	2,660	0
6)標準化維持	1,000	1,000	0
小計	11,585	11,585	0
6 役員報酬			
監事報酬	1,200	1,200	0
小計	1,200	1,200	0
7 販売費及び一般管理費			
1)職員人件費	7,000	7,000	0
2)賃借料(事務所+駐車場)	760	760	0
3)旅費交通費(出張費)	1,500	1,875	375
4)通信運搬費(電話代、郵便代)	50	50	0
5)消耗品費(事務用品他)	300	300	0
6)会議費	20	20	0
7)使用料	0	0	0
8)租税公課(固定資産税、印紙代)	100	100	0
9)手数料	150	150	0
10)委託費	800	800	0
11)報償費	0	0	0
※諸会費	0	0	0
※雑費	1,000	1,000	0
小計	11,680	12,055	375
8 総収入	26,494	39,476	12,982
9 総支出	24,180	31,689	7,509
10 税引前当期純利益	2,314	7,787	5,473
11 法人税、住民税及び事業税	0	0	0
12 当期純利益	2,314	7,787	5,473
13 利益剰余金	10,932	18,281	7,349
※協賛会員数			
Platinum Sponsor (50万円)	10	12	2
Gold Sponsor (20万円)	21	17	-4
Silver Sponsor (10万円)	38	39	1

2013年度予算 6月補正ポイント(捕捉資料)

1 収入に関すること

- 1) 技術者認定試験に関して、原案では「プロメトリック配信料等を控除した」当財団への入金見込額のみを売上見込計上していたが、今岡監事の指摘を踏まえ、
 - ・試験事業の売上(受験者からの収入) = 売上見込
 - ・プロメトリック社の配信料等控除額、認定証の作成、発送等 = 売上原価見込と修正した。
なお、これに伴い、認定試験の収入見込額は、1,000人受験で15,600千円。
- 2) その他事業収入に関して、松江市から受託した国事業「起業支援型地域雇用創造事業」で受託収入見込額(5,254千円)を増額計上。

2 支出に関すること

- 1) 技術者認定試験に関しては、上記「1-1)」のとおり。
売上原価見込は、配信手数料、認定証印刷・発送委託費、バウチャ費、テストデータ修正費で6,309千円を計上。
このうち、配信手数料、バウチャ費、テストデータ修正費分の6,134千円を増額。
- 2) 旅費交通費に関して、松江市・国事業の受託に伴い新規雇用者に関する旅費交通費を上乗せし、375千円(東京往復・1泊を5回分)を増額。
※予算全体では、@75千円(東京往復・1泊)×25回=1,875千円を計上。

「Ruby 規格保守等基本契約」 共同声明

独立行政法人情報処理推進機構
一般財団法人 Ruby アソシエーション

2013 年 5 月 13 日

プログラム言語 Ruby はまつもとゆきひろが 1993 年より開発している日本発のプログラム言語です。豊富な機能と簡便さとを併せ持ち、高機能なアプリケーションを簡潔に記述できる等の特長があります。クックパッド株式会社が同社の運営するサイトの構築に Ruby を用いているのをはじめ、海外では株式会社セールスフォース・ドットコムが Ruby を中心としたクラウドサービスを提供するなど、Ruby 言語は国内、海外を問わず広く利用されています。また、近年では、mruby と呼ばれる組込み向けの処理系が作られるなど、さらなる利用範囲の拡大に向けた試みも始まっています。

こうした中で、更なる Ruby の普及と発展を推し進めるため、2011 年 7 月に多くの企業の協賛を得て、一般財団法人 Ruby アソシエーションが設立されました。

情報処理推進機構では 2008 年に「Ruby 標準化検討ワーキンググループ」を設置し、Ruby の言語仕様の規格文書策定事業を進めてきました。その結果、2011 年 3 月には JIS 規格 (JIS X 3017) が制定され、2012 年 4 月には国際規格 ISO/IEC 30170 が発行されました。

このたび、国際規格化の完了を受け、Ruby 言語及び Ruby 規格のより一層の発展・普及を促すため、Ruby 規格文書の保守および改訂の作業を IPA から Ruby 言語の開発に深く関わる Ruby アソシエーションに引き継ぐことを合意し、そのための手続きとして、「Ruby 規格保守等基本契約」を締結しました。

同契約は、今後の規格文書の保守および改訂について、Ruby アソシエーションが主導し、主体的に活動していくことを確認するとともに、規格の保守および改訂作業を円滑に行うために必要となる法的な手続きを目的としています。

■ 「Ruby 規格保守等基本契約」 概要

- Ruby 規格の普及及び適正な維持管理によるプログラム言語 Ruby がもたらす情報処理業界ならびに社会一般の発展を目的としています。
- Ruby アソシエーションが、Ruby の国際規格・国内規格について、市場・技術動向を踏まえ両規格が適切な内容を維持するよう、規格の保守、つまり、規格文書の修正や、Ruby のバージョンアップに伴う規格改訂等を行います。
- 情報処理推進機構は、技術の進歩、社会の要請等に Ruby 規格を適応させるとともに Ruby 規格の普及促進を図ることを目的として、現在進行中の JIS 文書修正作業が完了後、両規格の原案及び関連資料一式に関する著作権を Ruby アソシエーションに信託譲渡します。
- Ruby アソシエーションは信託譲渡された文書等について、その著作権者として、自身の判断により活用ができるようになります。また、その活用においては、信託の目的を阻害しない範囲において、また、規格書の出版に関する契約に反しない限り、規格改訂作業以外の目的にも自身の判断にて活用することができるようになります。

Ruby Prize 2013 開催趣意書

Ruby は 1995 年以来オープンソースソフトウェアとして公開されており、ここまで普及したのは誰かひとりの成果ではなく、これまでに自発的に参加して下さった皆さんの努力の結晶です。しかし、どうしても世間からの注目は、プロジェクトをはじめた人、長く活動している人に集中しがちです。

そこで新規に Ruby コミュニティ活動に参加した人が正当な評価を受けられるように、今回、Ruby に関する「新人賞」とでもいうべき Ruby Prize という賞を創設することにしました。Ruby Prize は、直近 2, 3 年に顕著な活動実績や功績を有する個人を表彰するものです。

受賞者の選考は、本賞のために組織した Ruby Prize 会員からの推薦と、一般からの推薦によって行います。表彰は RubyWorld Conference 2013 の会場で行います。また受賞者には副賞として、Ruby Prize スポンサーとしてご協力いただく松江市から賞金が授与されます。Ruby コミュニティの発展と、頑張った人が報われる環境の育成のため、Ruby Prize をよろしく願います。

Ruby Prize 2013 実行委員長 まつもと ゆきひろ

Ruby Prize 2013 Recommendation Sheet

(Prize 会員用)

氏名 姓 _____ 名 _____

※ CRuby Committerの方は Subversion のアカウント名をご記載ください _____

Ruby Prize 2013 の開催趣旨に賛同し、Ruby Prize 2013 の受賞者を推薦する「Prize 会員」への就任を承諾し、受賞者に相応しいと考える者を下記のとおり推薦します。

1. 非推薦者 氏名 _____

※ 非推薦者の氏名(本名)が不詳な場合は ID 等、開発者の間で通常利用されている呼称等を記入してください。なお、自薦も可能です。

2. 推薦理由 (200 文字程度でご記入ください)

3. 推薦理由の内容を確認できる Web サイト等

4. Ruby Prize 2013 のご推薦にご協力いただく「Prize 会員」について Web サイトで公表を予定しています。ご承諾いただけるか否かをご回答ください。

(下記からご意向に沿うものにチェックをお願いします)

- 「Prize 会員」として氏名の公表および Twitter、GitHub 等のリンクを承諾する。
(氏名にリンクするサイト: _____)
- 「Prize 会員」として氏名の公表のみ承諾する。
- 氏名の公表を承諾しない。

5. Ruby Prize 実行委員会

実行委員長 まつもとゆきひろ(Ruby アソシエーション理事長)

委員 井上 浩(Ruby アソシエーション副理事長)、笹田 耕一(Ruby アソシエーション理事)、前田 修吾(Ruby アソシエーション事務局長)、高橋 征義(日本 Ruby の会代表理事)、角谷 信太郎(日本 Ruby の会理事)、藤原 亮彦(松江市産業観光部次長)

事務局 松江市 産業観光部 まつえ産業支援センター 内

6. Ruby Prize 2013 推薦基準について

- 1) 推薦対象の基本的なイメージは別添の開催趣意書のとおりです。
- 2) 推薦対象は、個人のみとし、法人やグループは対象としません。
- 3) Ruby (実装は不問) 及び周辺のライブラリ・フレームワークの開発、発展及び保守に顕著な貢献した者を対象とします。ただし、Ruby でのアプリケーション開発の功績や実績は想定していません。
- 4) 趣意書の「新規に」の期間は、概ね直近 2~3 年を想定しています。

7. Ruby Prize 2013 推薦から表彰まで

- 1) 「Prize 会員」の推薦とあわせ、一般推薦(自薦・他薦可)を受付。
- 2) 推薦を集計し、上位 15 名を選抜、公表(※順位は非公開)。
- 3) 集計結果をもとに、実行委員会がノミネート対象者(若干名)を選考、その中から Ruby Prize 受賞者 1 名を決定。ノミネート対象者は、Web サイトで公表。
- 4) ノミネート対象者を、2013 年 11 月 21 日・22 日に島根県松江市で開催される「RubyWorld Conference 2013」の会場で表彰。Ruby Prize 受賞者によるご講演を予定。

8. Ruby Prize 2013 受賞者への副賞

Ruby Prize 2013 受賞者(1 名)には、実行委員会から副賞として 100 万円が贈呈されます。

9. Prize 会員について

下記の方に Prize 会員への就任の依頼します。

- ・ Ruby アソシエーション評議員、理事
- ・ 日本 Ruby の会理事、監事
- ・ CRuby コミッタ
- ・ RubyWorld Conferece に登壇された海外講演者(Tim Bray、Dave Thomas 等)
- ・ 公募にする前の 2009 年・2010 年の RWC 国内講演者(竹内郁雄、久野靖 等)

RubyWorld Conference 2013



基調講演者

まつもとゆきひろ

一般財団法人Rubyアソシエーション 理事長

プログラミング言語Rubyの生みの親。株式会社ネットワーク応用通信研究所フェロー、一般財団法人Rubyアソシエーション理事長、米Heroku Chief Architectなど、肩書多数。三女一男犬一匹の父でもある。温泉好き。鳥取県出身、鳥根県在住。牡牛座。O型。

プログラミング言語「Ruby」は、今年2月にはその開発から20年を迎え、また、5年ぶりのメジャーバージョンとしてRuby2.0がリリースされるなど、新たな時代へ突入り、様々な場面で利用が広がっています。かつて人々は、「日本から世界に通用するソフトウェアは登場しない」と信じていましたが、Rubyの成功は、これらの「過去の常識」がもはや思い込みでしかないということを示しました。今年のRubyWorld Conferenceは、皆様にRubyの可能性を知ることを通して「新しい常識」、そして「未来」を構築する機会を提供します。

Rubyの  新しい可能性

Rubyの「エコシステム」～Rubyの持続可能な生態系～

- 最新技術動向の紹介
- 開発事例の紹介
- ユーザー視点での導入事例の紹介
- 教育・研究の紹介
- 公的機関による Ruby 支援の取り組み
- そして、エコシステム全体の基盤となる様々なコミュニティの活動の紹介



11/21^{THU} - 22^{FRI}

<http://www.rubyworld-conf.org/>

入場無料(参加登録が必要です。詳しくは、ホームページをご覧ください。)

会場 鳥根県立産業交流会館「くになびきメッセ」3F:国際会議場
1F:多目的ホール
松江市学園南一丁目2番1号 JR松江駅からバス3分/徒歩7分

基調講演者

Tom Preston-Werner氏

GitHub Inc.共同創業者兼CTO

GitHub Inc.の共同創業者兼最高技術責任者。GitHub(ギットハブ)はソフトウェア開発プロジェクトのための共有ウェブサービスで、Ruby関連の数多くのプロジェクトをはじめ、国内外の多くのIT企業によって利用されている。開催テーマである「Rubyのエコシステム」にとって欠かすことのできない存在。

【主催】RubyWorld Conference開催実行委員会

【構成団体】(一財)Rubyアソシエーション / 鳥根県 / 松江市 / 国立大学法人体島根大学 / (独)松江工業高等専門学校 / (独)ジェトロ松江貿易情報センター / (公財)しまね産業振興財団
(一社)鳥根県情報産業協会 / しまねOSS協議会 / 経済産業省 中国経済産業局

【後援】総務省 中国総合通信局 / 中国情報通信懇談会 / 中国経済連合会 / 鳥根県商工会連合会 / 鳥根県商工会議所連合会 / 鳥根県中小企業団体中央会 / 山陰中央新報社 / 日本経済新聞社松江支局
朝日新聞松江総局 / 毎日新聞松江支局 / 読売新聞松江支局 / 産経新聞松江支局 / 中国新聞社 / 新日本海新聞社松江支社 / 鳥根日日新聞社 / 共同通信社松江支局 / 時事通信社松江支局 / NHK松江放送局
BSS山陰放送 / 日本海テレビ / 山陰中央テレビ / 朝日テレビ放送 / エフエム山陰 / 山陰経済経営研究所 / 鳥根経済同友会 / (公財)ふるさと鳥根定住財団 / 日経BP社 / 技術評論社
【お問い合わせ】RubyWorld Conference開催実行委員会 / E-mail:2013@rubyworld-conf.org / TEL:080-5758-7725

